

文芸コーナー

短歌

根菜は土に埋めて菜は干して雪のふるさと冬籠りする
皆と来て帝釈天の仏像を束子にて洗ふ雨にぬれつつ
小学校三年生の授業にて子等が我が家の畑見学す
ゆれ動く大地に春の気配あり草木の新芽に伸びゆく日脚に
氷雨あがり色なき木末日をうけて湛ふる露の玉のかがやく

原 野村 とく

俳句

花摘みて房総の春抱え込み
街道に旧る道しるべ春の雪
大梁や屋根の深雪に耐えており
華やぐは小さき雛の力かな
日向ぼこ手押し車に腰かけて

高花 尾張フミ子
木刈 宮下 諄子
小倉台 田中孝二郎
発作 関口千代子
高花 藤本 信子

加藤恵美子選

五十嵐正雄選

〈短歌・俳句をお寄せください〉

一人一首または一句で未発表のもの。毎月20日締め切り(必着)です。投稿は、住所・氏名(ふりがな)・電話番号を明記の上、秘書広報課広報広聴班まで。

印西市観光情報館は、イオンモール千葉ニュータウン店の1階にあり、年中無休で午前10時〜午後6時までの開館



広報レポーター：中川 裕美子 (小倉台)

施設がいと

印西市観光情報館

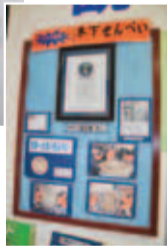


豊富な観光情報が盛りだくさんの「印西市観光情報館」

です。「NPO法人印西市観光協会」が運営しており、観光パンフレットの紹介や地元産品の展示を行っています。取材当日、担当の船戸さんにお話を伺いました。開設は2年前で、BIG HOPから移転してきました。現在は、平均2,000人/年間の集客があります。入り口左手には水郷めぐりのチラシや観光マップなどのご案内パンフレットが置かれており、中央には、生活情報にまつわる広報やふれあいバスの時刻表などが並んでいます。右手には地元産品が展示されている「せんべい」です。今年1月にギネスに認定された「印西手焼きせんべい」



市の名産品が一目瞭然のケース(上)と噂のギネス記録認定書



が有名ですが、世界一の称号にあやかりたいのか、飾ってあるギネス記録の認定証を拝んでいく人もいます。正面奥には「印西八景」とフォトコンテストの入賞作品が展示されています。中央のブースには、散歩コースの地図が置いてありました。船戸さんによると「年間オススメは、『本塋白鳥コース』『結縁寺の彼岸花9日コース』です」とのこと。特に冬になると白鳥(今年はソデグロツルについて)の問い合わせが多くあります。お客さまから「今日は白鳥が何羽来ていたよ」、「ソデグロツルがあそこで見られたよ」などと、情報を頂くこともあるそうです。

ほかには、市内のイベントをDVDで上映していたり、年間スケジュールとイベントの様子が一目で分かる大きな表が張ってあったりと、印西市の観光名所や見どころを分かりやすく知ることができました。わたしも印西市で河津桜が見られると知って驚きましたし、「木下駅南骨董市」や「正月マラソン」を見に行きたいと思えました。そのほか「桜まつり」や「コスモス里山まつり」など季節ごとの催し物も面白いですし、年末の「うまかっぺ市」は「印西市観光協会」が主催しています。みなさんも買い物やお散歩ついでに、一度立ち寄ってみてはいかがでしょうか。

印西市観光情報館(☎/FAX 53300)。

ほっとレポート



広報レポーター：岡田 芳文 (平賀)

浦部に伝わる伝統行事 妙見神社の「鳥オビシヤ」

房総の正月の祭り・行事といえは「オビシヤ」と「筒粥(つつがゆ)神事」が代表的なものだが、わが印西市にも「鳥オビシヤ」というユニークな行事がある。浦部地区の中村一族九軒の氏子によって守られる妙見神社の祭礼だ。今年も小正月になる2月21日夜から22日の午後にかけて行なわれた。「オビシヤ(御奉射と書く)」は弓矢的的を射て、その年の農作物の豊凶を占う行事で、全国各地で行われている。特に鎌倉の流鏝馬が有名だが、浦部では弓を射る代わりに、しん粉餅で作った鳥を梅の枝や竹に飾った「鳥山」といわれるものを作る。この鳥山作りが21日の夜から始まる。一族の各家庭では家族と親類縁者総出で取り掛かるが、中村一族の本家筋に当たる中村孝氏によると「一族の者が顔を合わせ、力を合わせて行うこの作業は、絆が一段と深まる時」という。妙見神社・鳥オビシヤの歴史は古い。妙見信仰は北極星を神格化したものとされ、中期には房総一帯を治めた千葉氏ら武士の間で弓矢の神として崇拝された。千葉氏はこ



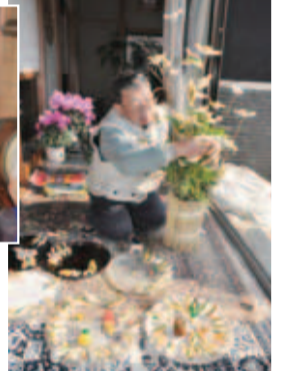
しん粉餅で作られた美しい「鳥」



21日の深夜まで親戚総出での鳥作り



22日の朝、鳥山を飾る中村孝氏(右)と同日行われた神事の様子(上)



れを氏神として祀ったとされる。その千葉氏の旗下にあった大菅豊後守正氏が築いたのが浦部の龍崖城。城址の西北には妙見神社が祀られていた。その正氏の家臣の後裔に当たるのが中村一族であり、鳥オビシヤを後継しているのである。

22日、前夜に作った鳥に墨で目を描き、金粉を塗って米俵を模した台座に刺した竹や梅の枝に飾り付ける。この鳥山を各家の主は「ヤド」と呼ばれる祭りの当番

の家に持ち寄り、床の間に飾りつける。太鼓の音頭で観音経の読誦、神官による神事後、祭りは佳境に。茶めし、白和えなど精進料理で直会(食事会)をやり、同時に「奉納妙見大菩薩」と大書された幟が立つ妙見神社に参詣。参拝者には、お神酒と精進料理が振る舞われ、悪魔払いと農耕の安穩の祈りが込められた鳥山の鳥が配られ、祭りは終焉を迎える。

なお、妙見神社の御手洗所とされる「月影の井」(鎌倉「星影の井」、福島二本松「日影の井」と共に「日本三井」と伝えられる)も中村一族によって管理されている。浦部の地に残るこの「鳥オビシヤ」に、古き良き日本の素朴さを感じた二日間だった。

リサイクル情報広場

掲載情報は2月29日現在 圃クリーン推進課/圃クリーン推進班(☎内線383)

ゆずります情報 (有料の物は希望価格)

- ①千葉商科大学付属高校制服②男子ランドセル③エレクトーン④衣類乾燥機⑤買い物カート(ヘルスパック)⑥コンビニのニンナンナ⑦マタニティー服⑧水盤⑨冷凍冷蔵庫⑩オートマティクゲート⑪液晶テレビの台。

さがしています情報

- ①きかり幼稚園制服、体操着②天神幼稚園制服③犬用乳母車④もとの幼稚園制服(男子)⑤しおん幼稚園制服⑥MDウォークマン⑦ベビーカー⑧リカちゃん人形⑨補聴器。

※詳しくは市ホームページをご覧ください

毎月5日は「ノーレジ袋デー」です。お買い物にはマイバッグを持参しましょう。

